



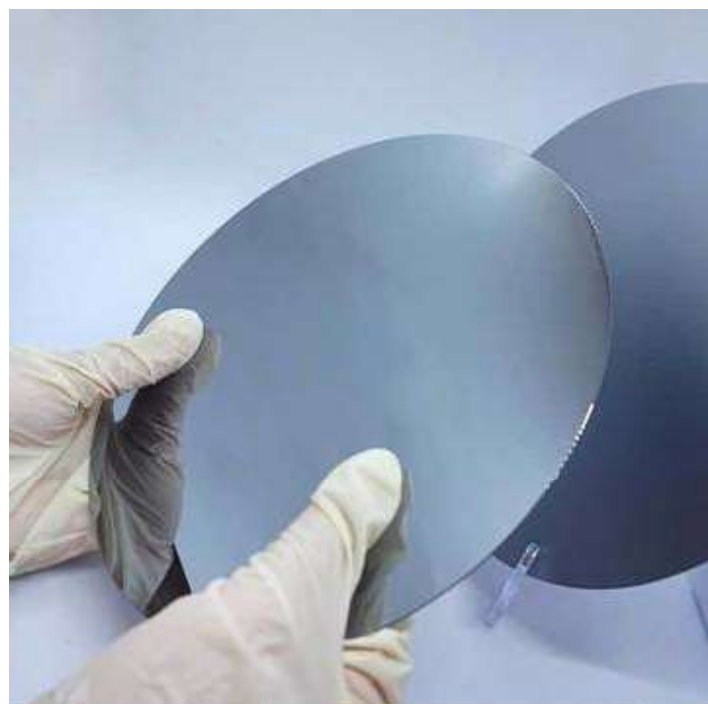
NNA JAPAN CO., LTD.

〒105-7209 東京都港区東新橋1丁目7番1号 汐留メディアタワー9階
Tel : 81-3-6218-4330 Fax : 81-3-6218-4337 E-mail : sales_vn@nna.asia

KDN PP 11802/03/2012(029010) MDDI(P) 049/03/2025

半導体素材から生態系構築 ベトナムウエハーの挑戦（上）

ベトナム南部ホーチミン市に拠点を置く地場新興企業ベトナムウエハーが、半導体産業の基盤づくりに挑んでいる。国内に豊富に存在する石英資源の高純度化に取り組んでおり、半導体チップの土台となるシリコンウエハーの安定供給を目指す。2024年に設立された同社は、26年に中部クアンチ省で高純度石英（HPQ）を製造する工場を稼働させ、研究開発（R&D）拠点で技術と人材を蓄積。産業全体を育てる第一歩を踏み出そうとしている。



ベトナムウエハーが生産委託で製造したウエハー（同社提供）

半導体チップは基板となるシリコンウエハーを切り出して生産される。そのシリコンウエハーの原料となるのが石英だ。石英を高純度化して金属シリコンを取り出し、鑄造してできるインゴット（塊）を薄くスライスした円盤状の板がシリコンウエハーだ。

半導体製造の前工程に位置づけられるウエハーの生産は信越化学工業とSUMCOの日本勢が強く、ベトナム企業での存在感はほぼ皆無。ベトナムウエハーのチャウ・ホアン・ロン最高経営責任者（CEO）は参入の糸口として前工程でも上流に着目。22年にHPQを製造する構想を立ち上げ、24年に同社を設立した。

ロン氏はNNAに「ウエハーに回路を形成する前工程は桁違いに資金がかかる。だからこそ、われわれのような新興企業が半導体のバリューチェーンに食い込むには、その上流の高純度石英から始めるしかない」と話す。

26年に工場稼働を目指す

ロン氏がまず始めたのが、石英でも半導体用途に適している、大型で純度の高い結晶が風化して堆積したクオーツサンド（石英砂）の発掘だ。「半導体用に適した石英は地質の理解なしには見つけれられない。年代や地層の成り立ちを読み解き、現場を歩いて掘り当てる必要がある。われわれはそこから始めた」と話す。



26年稼働予定のHPQ精製工場の完成予想図（ベトナムウエハー提供）

同社は北中部クアンチ省で適した鉱床を見つけ、26年稼働予定のHPQ精製工場建設へとこぎつけた。精製工

場では、クオーツサンドから鉄やアルミなどの不純物を徹底的に取り除き、半導体に使えるレベルまで磨き上げる。工場の第 1 期の投資額は約 300 万米ドル（約 4 億 5,000 万円）。生産能力は年 1,500 トンだ。



質問に答えるロン CEO = 8 月 25 日、ホーチミン市

精製した H P Q からインゴットへの casting、ウエハー加工といった工程は生産委託するが、原料規格と品質保証は自社で管理する。ロン氏は「生産は委託しても品質保証は自分たちが握る。そこを渡したら顧客の信頼は得られない」と強調する。

さらに「上流を押さえなければコストは制御できない。自分たちで石英を確保し精製することで、下流の工程に安定性と競争力を与えることができる」とも述べ、資源とコストコントロールの重要性を説いた。

ベトナムウエハーの挑戦は国の産業政策にも後押しされている。ベトナム政府は半導体を重点分野に据え、税制優遇や研究開発補助、人材育成支援を通じて H P Q 工場の整備を支えている。ベトナムウエハーは、国家戦略と歩調を合わせることで、事業基盤の安定化を図る。

＜会社概要＞

ベトナムウエハー：

「豊富な石英資源を半導体水準の素材へ転換する」という着想を得た創業メンバーが中心となって 22 年に事業化に向けたチームを立ち上げ、24 年に法人化した。CEO のロン氏はベトナムウエハーの設立前、インドチャイナ・ホールディングスやディスカバリー・グループなどベトナムの有力投資銀行で経営幹部として勤務した。専門は、戦略計画や財務管理、合併・買収（M&A）。

NEWS HEADLINES

【IT】	半導体素材から生態系構築	1	【建設】	エアビー不可の物件が大半、ホーチミン市	7
【社会】	強い台風で12人が死亡、17人が行方不明	3	【建設】	不動産ノバ、アクアシティー事業再開の動き	8
【経済】	10月施行の法令、AI活用促進など	3	【建設】	不動産融資残高、全体の18.5%	8
【経済】	対米輸出が減速、繊維・家具・水産物で	3	【医薬】	ハノイで大型病院着工、ビナコネックス	8
【車両】	1～8月の完成車輸入額、過去最高に	4	【建設】	高齢者向け住宅の需要増加、利幅など課題に	8
【経済】	VPバンク、地場企業へESG投資呼びかけ	4	【金融】	HDバンク証券、仮想通貨取引所に出資へ	9
【食品】	コカコーラが工場閉鎖、投資登録期間が満了	4	その他アジア情報		
【IT】	液冷システムのボイド、AI需要で工場拡張	5	【車両】	東南ア新車販売、タイ底打ち	10
【公益】	DPPAの要件緩和へ、商工省が国会決議案	5	【経済】	〔アジア人事〕カシオ計算機ほか	11
【公益】	ビンロン省、4件の風力発電事業が同時着工	6	特集		
【公益】	コンダオ島でスマート送電網、EVNが起工	6	【マーケット】	株式 2025/09/29	12
【資源】	PVパワー7兆ドン増資、LNG火力資金に	6	【マーケット】	為替 2025/09/29（日本時間19時30分）	13
【運輸】	ホーチミンメトロ2号線、資金や規模修正へ	7			
【金融】	GELIXインフラ、年内のIPOを計画	7			



テイクオフ

△台湾発△台北から東京に出張した折に、埼玉県北部の山里に暮らす両親が上京してきた。春に生まれたひ孫の顔が見たいという。タクシーと電車を乗り継ぎ2時間。脳梗塞を患い歩行が危うい父を体調の優れない母が支えての電車移動は予想以上に疲れたようだ。2人は孫娘が赤ん坊を連れてくるまでベッドから起き上がらなかった。

父は若い頃から家族を置いて長期の欧州周遊に出るほどの旅好き。定年後は海外暮らしが長い息子と娘の赴任国の情報を集めては、晩酌の場で「来年の春には」と夢を膨らませていたらしい。母がそれを無理だよといさめるのが定番だが、最近父も体力の衰えを自覚し、弱気らしい。

翌日、88歳と83歳の両親を最寄り駅で見送った。今回もこれが見納めかもしれないと予感し、これまで自由にさせてくれた感謝でもと思ったが、出てきた言葉は「じやあまた、元気で」だった。（卓）

TAKE OFF